



人荷用エレベーター HUMAN & LOAD

人も荷物も運びたい・・・人荷用エレベーター



特記

- 人荷用は、人と荷物の運搬、両方の用途を兼ね備えたエレベーターです。
- ドア形式（開閉方式）のアレンジや、出入口貫通型も製作いたします。
- ご用命の際、カゴのサイズ・積載量がどの程度必要かを当社にご相談下さい。
- その他、ご要望に応じて設計・製作致します。
- 施工・設備の詳細については、施工資料または当社営業窓口までお問い合わせ下さい。



●まずは当社営業窓口まで、お気軽にお電話ください。

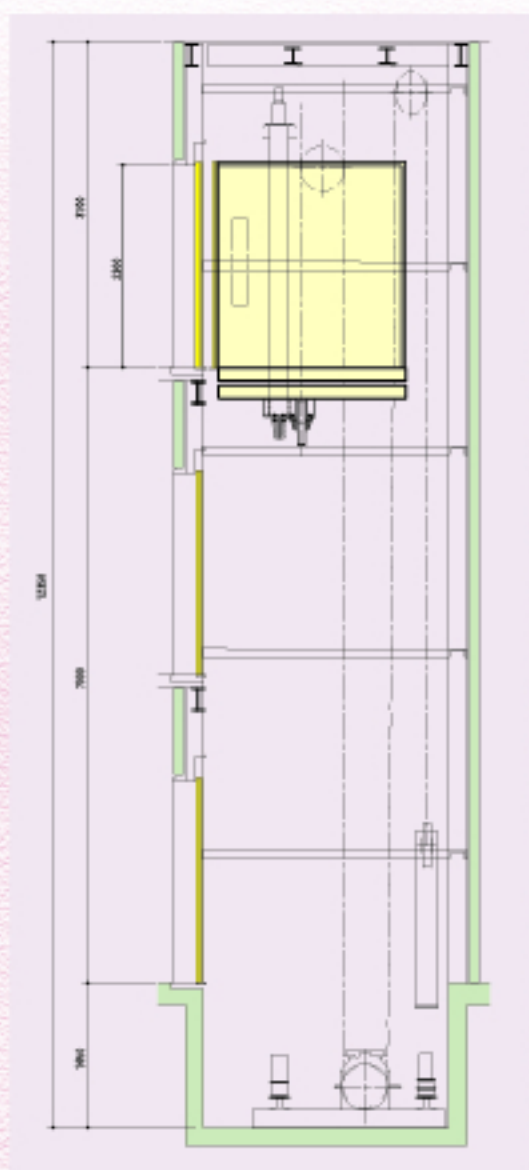


ルームレス 省エネルギー・省スペース・省コストを生む

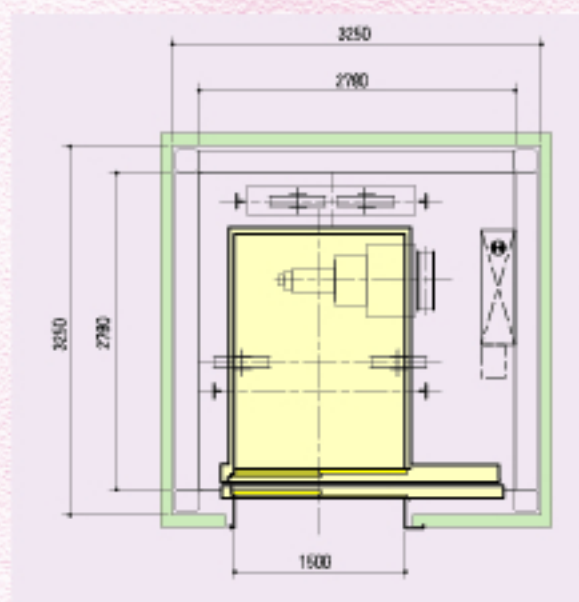
ルームレスとは、

- エレベーターのすべての機械を昇降路内に納めた、機械室を必要としないものです。
- 従来のロープ式・油圧式に比べ、建物スペースが節約でき、建物の景観・工期の短縮・不要となった機械室の施工・設備コストの削減など、設計の自由度が広がるメリットの多いものです。
- もちろん、従来のエレベーターのように、さまざまな用途に対応でき、性能・品質ともに納得のいく製品となっております。

昇降路断面図



昇降路平面図



型式	積載量 (kg)	速度 (m/min)	カゴ有効内法 W×D×H	出入口有効 W×H	昇降路寸法（鉄骨内寸）		
MEI-2-750-2S-4S-RL	750	45	1200×1500×2300	1200×2300	2450×2300	ビット深さ	QH寸法
MEI-2-1300-2S-4S-RL	1300		1500×2000×2300	1500×2300	2790×2790	1650	3700
MEI-2-2600-3S-4S-RL	2600		2000×2500×2300	2000×2300	3740×3630	2200	5200

※この表は、ロープ式・油圧式共通です。また、案内のり道サイズは標準化されたものであります。



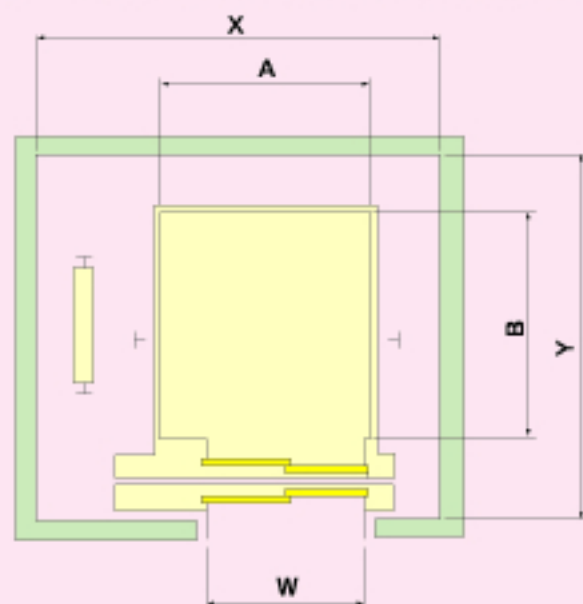
人荷用エレベーター HUMAN & LOAD

ロープ式

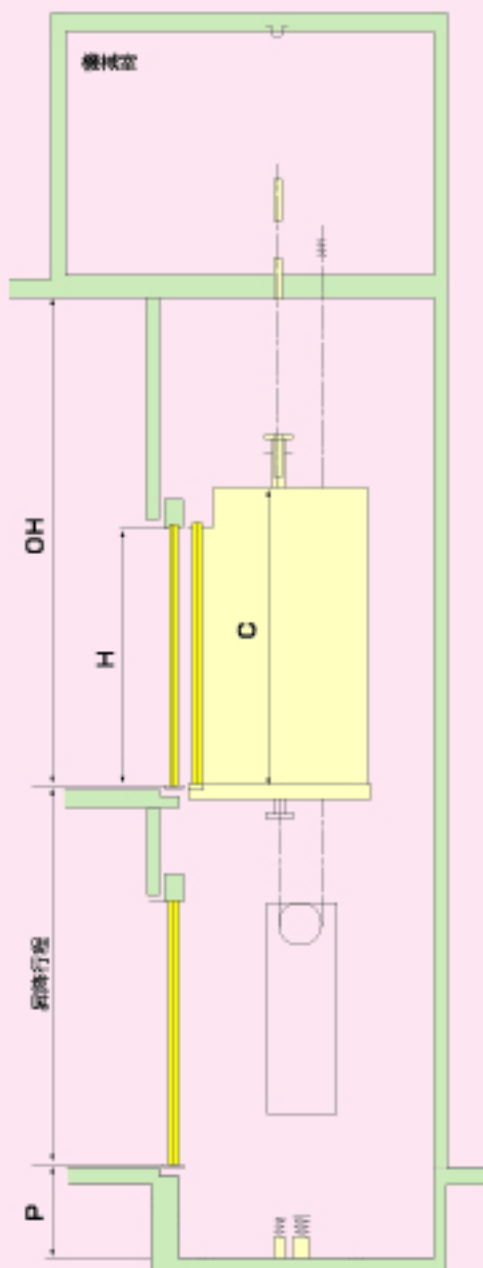
機械室 塔屋

- 機械室面積は原則として昇降路の2倍以上必要です。
- 高さは床面から梁下、あるいはトロリービームの下端までの寸法を2000mm以上確保して下さい。
- 機械室床の強度は、機器重量および運転動作時の荷重に耐えうる構造として下さい。

昇降路平面図



昇降路断面図



●まずは当社営業窓口まで、お気軽にお電話ください。

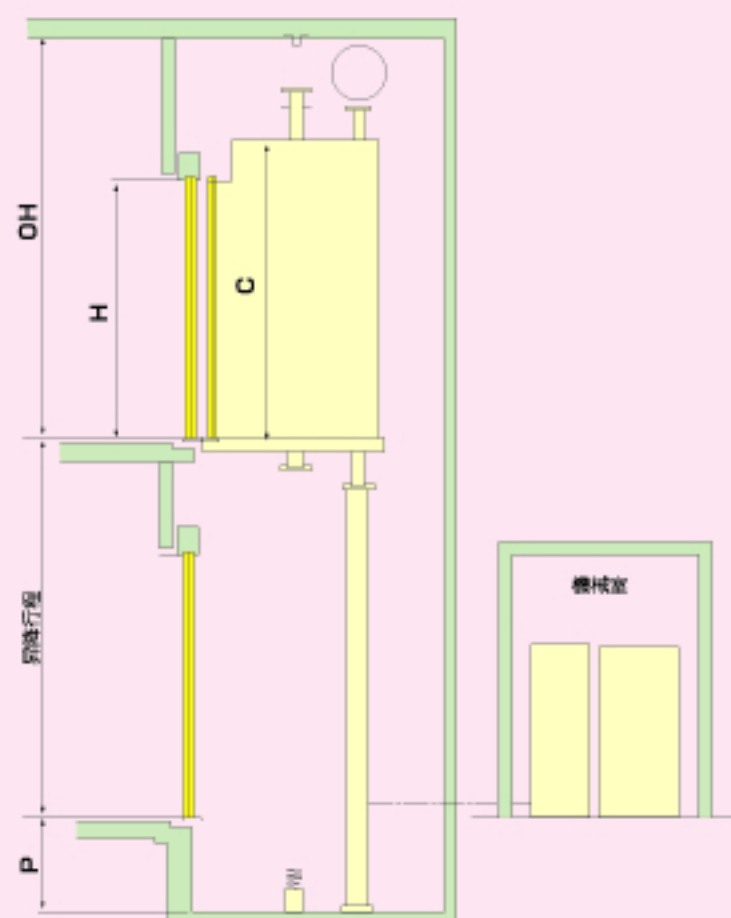


油圧式

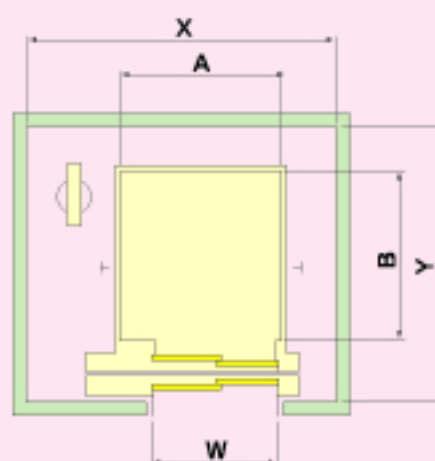
機械室

- 機械室面積は、点検に支障のない程度のスペースでOKです。
- 但し、機器の周辺500mm以上を確保する事が原則です。
- 高さは床面から梁下までの寸法を2000mm以上確保してください。
- 機械室内には床面より高さ150mm以上の防油堤を設けてください。
- 機械室は昇降路最下層に隣接させるのが好ましい位置ですが、何処の層でも設けることが出来ます。

昇降路断面図



昇降路平面図



型式	積荷・定員 (kg・人)	速度 (m/min)	カゴ有効内法 A×B×C	出入口有効 W×H	昇降路有効 X×Y	OH	P
MEI(H)-450-2S	450・6		1200×1000×2100	900×2100	1900×1600		
MEI(H)-800-2S	800・12	20~60	1300×1500×2100	1000×2100	2000×2100		
MEI(H)-1200-2S	1200・18		1400×2000×2100	1100×2100	2100×2600		
MEI(H)-1800-3S	1800・27	20~45	1800×2100×2100	1500×2100	2600×2800		
MEI(H)-2400-3S	2400・36		2000×2400×2100	1700×2100	2700×3100		

※この数値は、ロープ式・油圧式両方で、また、機内の寸法サイズは標準化されたものではありません。